

日川協通信 (121)

平成30年9月15日



一般社団法人 全日本川柳協会
〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目
北一一一九〇五

電話 (06) 6352-2210
FAX (06) 6352-2433
振替口座 00970-9-13575

<http://www.nissenkyou.or.jp>

ご挨拶

理事長 小島 蘭 幸

地震、豪雨、台風、各地で大きな災害が相次ぎました。

被害に遭われました皆様には心身共にお疲れのことと拝察いたしますが、一日も早い復旧を心より願っています。

平成30年6月10日、また復興途上の熊本で第42回全日本川柳大会を開催いたしました。出席者は五六九名の盛会でした。平田朝子実行委員会をはじめスタッフの皆様には厚く御礼を申し上げます。またご多忙の中を全国各地からご出席くださいました柳友の皆様ありがとうございました。お蔭さまで楽しい前夜祭、良い大会にするこ

とが出来ました。感謝しています。

宿泊先のホテルで次期開催地、浜松市の皆様と歓談することが出来ました。とても張り切っておられますので、今から応援をよろしくお願いいたします。

今年の10月21日には、大分県・別府市公会堂で、第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会が開催されます。また、11月4日〜5日には、ねんりんピック富山2018川柳交流大会が高岡市で開催されます。川柳大会は楽しいです。是非、柳友を誘ってご一緒にご参加ください。

厳しい残暑が続いていますが、夜になると虫の音が聞こえてくるようになりました。皆様のますますのご健闘を祈り申し上げます。

第42回 全日本川柳 2018年 熊本大会

(当日参加者 569名/事前参加者 1,968名/ジュニア参加者 7,262名)

文部科学大臣賞

フクシマの草へ言い訳などするな

山梨 小林信二郎

参議院議長賞

にんげんの深いところにある火口

京都 西ノ坊典子

川柳大賞

駆け登る若さに怖いものはない

広島 福田 淳子

大会賞

半分はこの世に在らず日向ぼこ

奈良 板垣 孝志

百歳の笑顔が連鎖して満ちる

神奈川 後藤 洋子

いただいた恵み大きくして譲る

青森 北山まみどり

円草のどこへ座ってみても風

大阪 平井美智子

人間が駆ける絶頂期の音だ

青森 千島 鉄男

枯草になるまで百の嘘を吐く

静岡 望月 弘

素直さへ神のパワーが降ってくる

富山 伊東 志乃

どう生きる老人力を滾らせる

福岡 小池 一恵

席譲る日溜まりひとつ生みました

青森 北山まみどり

二世帯に豊かな知恵が響き合う

鹿児島 上之園とし子

固唾のむ満座を包む語彙の森

北海道 松村 滋

ジュニア部門

熊本県知事賞

すわるときちよつとつめたらあと一人
熊本 菱形小4

貝塚 蒼宇

熊本市賞

くまモンとともに広げる笑顔の輪
熊本 山ノ内小5

土田さくら

熊本県教育委員会賞

ふじ山の上にドスンと座りたい
広島 佐方小4

北畠 麻貴

熊本市教育委員会賞

温暖化地球のパワーへらしてる
富山 月岡中2

尾塩佳代子

熊本県文化協会賞

楽しくてすわってなんていられない
熊本 出水南小3

吉原 巴菜

全日本川柳協会賞

豊かさに気付いてしまおうままごと
佐賀 東脊振小6

真島 芽

教育新聞社賞

けしごむのパワーごしごしままのつもの
岡山 中庄小3
にげみずのようにゆたかさとわざがる
富山 定塚小4

小田上優菜
江畑 小夏

豊かなら笑ってよつて悲しい目

熊本 力合中1
高野 美結

平成30年度（6月10日）

第2回理事会 東西合同常任幹事会 通常総会

場所 熊本市民会館 シアーズホーム夢ホール

定足数の確認のあと議事録署名者選出

東西常任幹事会・総会 議案

議案第一号 平成29年度事業報告承認の件

議案第二号 平成29年度収支決算報告承認の件

承認の件

報告第一号 平成29年度監査報告の件

議案第三号 常任幹事推薦の件

報告第二号 全国大会表彰の件

その他

理事会 議案

フリーターキングにて討議が行われた。

右の議案案件について審議の結果、理事会
総会で承認された。

〈大会連続出席者〉

連続10回参加

岡崎 守・川口まどか

中村 文彦・伊藤のぶよし

浅葉 進・赤松ますみ

竹口 清信・井原みつ子

連続15回参加

小山しげ幸・西村 正紘

〈マスコミ柳壇の指導を10年以上行った者〉

岡崎 守・加藤 一行

船橋 豊・松岡 緑朗

鍋島 香雪

〈特別表彰〉

大野 風柳

〈第14回80歳以上の功労者顕彰〉

西潟賢一郎・金子美知子

久保田半蔵門・田中 螢柳

永石 珠子

〈第11回川柳文学賞〉

正賞 「半醒半睡」

準賞 「ふるさとと雪もよい」

鏡淵 和代

宮 一能

第42回熊本大会選者

第一部 事前投句選者

「豊か」 荻原美和子 選

「座る」 麻井文博 選

「とんとん」 駒木香苑 選

「火」 松村華菜 選

第二部 当日投句選者

「パワー」 上村脩 選

「譲る」 福本清美 選

「草」 高木勇三 選

ジュニア部

「豊か」 高鶴礼子 選

「座る」 平井義雄 選

「パワー」 大野征子 選

第二次選者

竹本 瓢太郎・本田智彦

岡崎 守・雫石隆子

新家 完司

（順不同・敬称略）

正味財産増減計算書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	28,637	18,322	10,315	
受取入金金	3,000	9,000	△ 6,000	
柳社入会金	3,000	6,000	△ 3,000	
個人入会金	0	3,000	△ 3,000	
受取会費	5,982,000	5,721,000	261,000	
理事会費	480,000	504,000	△ 24,000	
常任幹事会費	3,108,000	2,928,000	180,000	
正会員会費(団体)	2,303,000	2,177,000	126,000	
正会員会費(個人)	91,000	112,000	△ 21,000	
普及向上事業収益	15,719,018	15,003,380	715,638	
写真名鑑	2,340,000	2,946,000	△ 606,000	
電子出版	297,000	718,740	△ 421,740	
全国大会(事前)	1,824,000	1,825,177	△ 1,177	
全国大会(当日)	6,462,340	4,672,047	1,790,293	
国民文化祭	1,439,000	1,944,000	△ 505,000	
表彰後援事業	149,102	208,096	△ 58,994	
選考協力事業	3,207,576	2,689,320	518,256	
受取補助金等	3,734,703	5,700,000	△ 1,965,297	
受取寄付金	0	100,000	△ 100,000	
雑収益	4,124	0	4,124	
経常収益計	25,471,482	26,551,702	△ 1,080,220	
(2) 経常費用				
事業費	24,998,141	23,534,866	1,463,275	
給料手当	3,815,504	3,895,504	△ 80,000	
臨時雇賃金	774,400	605,885	168,515	
退職給付費用	142,500	142,500	0	
会議費	108,565	0	108,565	
旅費交通費	1,527,557	1,460,180	67,377	
通信運搬費	1,662,743	2,084,092	△ 421,349	
支払手数料	10,558	11,180	△ 622	
消耗品費	318,700	557,081	△ 238,381	
印刷製本費	3,365,428	4,125,388	△ 759,960	
光熱水料費	111,106	113,357	△ 2,251	
賃借料	1,185,153	1,185,153	0	
保険料	62,450	55,570	6,880	
諸謝金	3,183,000	3,044,460	138,540	
表彰後援費	543,835	1,042,139	△ 498,304	
広告宣伝費	20,000	0	20,000	
実行委員会運営費	6,462,340	4,672,047	1,790,293	
借損・設営費	322,920	407,490	△ 84,570	
雑費	1,381,382	132,840	1,248,542	
管理費	1,959,790	2,167,711	△ 207,921	
給料手当	200,816	205,026	△ 4,210	
退職給与費用	7,500	7,500	0	
福利厚生費	26,245	26,688	△ 443	
会議費	154,156	382,009	△ 227,853	
旅費交通費	334,170	358,460	△ 24,290	
通信運搬費	87,512	109,689	△ 22,177	
支払手数料	864	864	0	
消耗品費	16,773	29,320	△ 12,547	
印刷製本費	116,987	11,820	105,167	
光熱水料費	5,847	5,966	△ 119	
賃借料	62,376	62,376	0	
保険料	0	0	0	
法定福利費	611,700	617,705	△ 6,005	
租税公課	70,000	70,000	0	
接待交際費	8,708	0	8,708	
雑費	256,136	280,288	△ 24,152	
経常費用計	26,957,931	25,702,577	1,255,354	
当期経常増減額	△ 1,486,449	849,125	△ 2,335,574	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付取崩益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用 (該当なし)	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期正味財産増減額	△ 1,486,449	849,125	△ 2,335,574	
一般正味財産期首残高	6,554,314	5,705,189	849,125	
一般正味財産期末残高	5,067,865	6,554,314	△ 1,486,449	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	21,000,000	21,000,000	0	
指定正味財産期末残高	21,000,000	21,000,000	0	
III 正味財産期末残高	26,067,865	27,554,314	△ 1,486,449	

監 査 報 告 書

一般社団法人全日本川柳協会
理 事 長 小 島 和 幸 殿

平成 30 年 4 月 25 日

一般社団法人 全日本川柳協会

監 事 秋 田 旬

監 事 矢 澤 和 女



私は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの第 26 期会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類及び公益目的支出計画実施報告書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の損益及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

第11回川柳文学賞受賞作品

正賞 『半醒半睡』 鏡淵 和代

準賞 『ふるさとと雪もよい』 宮 一能

2018年6月10日、熊本県・ホテル日航熊本にて授賞式が行なわれ、平山繁夫選考委員をはじめ、多数の川柳家にお集まりいただきました。第11回川柳文学賞は平成29年に発刊された句集のうち、申請のあった20冊を選考委員・久保田半蔵門・平山繁夫・雪石隆子・佐藤美文・林えり子（作家）、5名（敬称略）が選考しました。

■総評 選考委員・平山繁夫

正賞 「半醒半睡」 鏡淵 和代（神奈川）

評（一位推薦） 平山 繁夫

この作者はありふれた世界に親和感を寄せ、そこに生活の意味を見いだした。ただし生きるひたすらな姿である。それは決して観念の世界ではなく実生活の中に自己の影を見たのである。人道的精神や人間性の尊重、自然美の重視による汎論的な意識を作品に内在させている。豊かな感性と思维の重層が深みを与えた。きょうとは違う壊れる音がする。

評（一位推薦） 雪石 隆子

マガジン誌の受賞作品ですが、作者の個性が際立っている。平易な言葉で現代社会の中の個の主張が心地良いリズムと響きを持って全体を引きこまれてしまった。深い内省と独創性を持ち、やはり第一席に相応しいものである。

評（一位推薦） 佐藤 美文

既に『第3回川柳マガジン文学賞』を受賞している実力者である。そのせいであろうか気負いのない作品ばかりで、そこに目を惹かれた。句にムラがなく、素直に心の底に落ちつくような作品ばかりである。川柳と言う文芸をきちんと理解されているようにも思う。柳歴5年ほどでこれからさらに面白くなっていくだろう。そこに成長を期待される。

評（二位推薦） 林 えり子

一句一句が見事です。駄作が見当たらないので改めて読むと「大賞受賞記念出版」、あとがきには「作品は全て入選作」とあります。人の目を捕らえたと感じ入

りました。

人生の雨期のあたりで根が育ち

人生は舞台奈落も袖もある

尾を振らぬ猫を余生の範とする

束縛はいやと散らばる心の字

中略 作品の完成度は抜群です。以下略

準賞 「ふるさとと雪もよい」 宮 一能（新潟）

評（一位推薦） 久保田半蔵門

川端康成の雪国に似た手触りのよい句集だ。日本一と言われる豪雪地帯の雪国で生まれ、雪国をテーマに雪国の過酷な日々を傍観し、日常に埋もれゆく無為の姿を美として愛で、郷土色豊かな人間社会の妖しい美や虚無を垣間見せながら、その温かな人柄を見せられるそういう句集である。埋め草で雪国の実体や言葉も知り非常な参考になった。装丁も雪国らしい表紙で句集としての重味がある。ふるさとと淡き化身や蕎麦の花

評（二位推薦） 雪石 隆子

人生の総仕上げの句集。雪に特化した句集であることも評価したい。地域性を活かし自身の川柳環境が見える。作品には平凡だが、平均的な到達点も又、宜しいのではないかと。応募の中に作品は素晴らしいが、奥付等々本として（受賞作）受け容れられないものが今回が多かったのが残念であった。

評（三位推薦） 林 えり子

「雪国ふるさと」をテーマに作句して「初めて編む句集」といい、作者紹介を読むと八十五歳です。句からの印象は若く、みずみずしい。雪国という「定点観測」がしつかりなされていく姿勢が反映されます。

雪地獄に耐えているのはDNA

ひとひらの雪がシナリオ締めくくる

女結び嫁も手伝う雪囲い

雪止んでそろそろ人の出る気配。

「雪」に見据えた句に秀作がある。

評（三位推薦） 平山 繁夫

この作品の根幹にあるものは誠実な人間の態度である。慢性的疾患と後遺症になやむ作者が庶民として、生きる人生の究極の意味を捉えた。それは自己の信念と永遠に実在する人間の高貴性（愛）いわば人間の縛りに似た真実を言葉として吐いた。

家系継ぐ一枚の皿ある如く

選外佳作

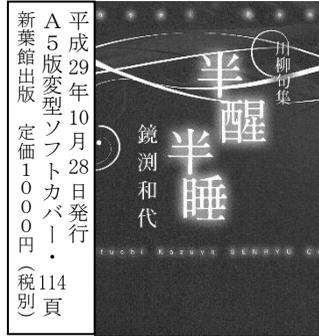
- | | | | |
|--------|---------|--------|-------|
| 「たまゆら」 | きさらぎ彼句吾 | 「各駅停車」 | 佐道 |
| 「杏」 | 荻原 亜杏 | 「一週間」 | 星井 五郎 |
| 「旅の人」 | 内田 厚子 | 「花ごぶし」 | 桂 ひろし |

鏡 測 和 代 氏



■ 主な掲載作品『半醒半睡』

仕合せでいつもどこかがかったるい
菜の花の拍手でわたし蝶になる
席一つ空けて下さい枯れてます
春がくる昔ばなしはもうしない
老朽化・欠陥わたし嫌いな字
本当の詩人だ何も書いてない
さびしさの蔓が内耳に這ってくる
いちまいの枯葉誇りも悔いもある
わたくしを呼べよ迷子のアナウンス
死は生の延長雲があそんでる
芽を出せとそんなに水をかけないで
独りとはこれか重なる音がない



■ 主な掲載作品『ふるさとには雪もよい』

女結び嫁も手伝う雪囲い
風媒花たどれば父と母の声
ふるさとの淡き化身や蕎麦の花
揺れる日も母は命の米を研ぐ
一滴の墨雲になる雪になる
ああ平和マツチも擦れぬ子に育ち
雪こんこそこから先の私小説
褒められて長女はいつも縛られる
雪地獄に耐えているのはDNA
燃え上がる方へやっぱり走り出す
さよならのうしろ姿やぼたん雪
ほの暗く花子が居ない夕餉どき

宮 一能 氏



平成29年12月20日発行
A5判ハードカバー・160頁
柗みらい 定価2000円

平成30年度 80歳以上の功労者略歴

埼玉県 西潟 賢一郎

(敬称略)



昭和10年6月14日生
1974年より、尾藤三柳に師事 川柳公論創立に参加
賞歴(平成26年〜27年)
平成26年 日立市全国

川柳大会 優勝 栃木市雀郎川柳大会 優勝
川柳人協会全国誌上大会 優勝

平成27年 第18回全日本川柳誌上大会賞
(平成柳多留)、全日本川柳千葉大会 大賞賞
川柳文化賞受賞、よみうり文芸欄 川柳担当
NHKカルチャー 川柳教室 講師 講座4教室
川柳人協会 副会長
句集「女海・男の川」「豚の華」
編著「着い群像」「あまやどり1・2」

神奈川県 金子 美知子



昭和11年9月19日生
全日本川柳協会常任幹事、川柳「路」吟社主宰、
神奈川新聞柳壇選者、

川柳教室講師

1956年頃、中村富一の川柳作品に出合い感動、川柳に興味を抱く。川柳「路」句会で中野懐憲(路)初代主宰に学び、一年ほどで中断。1976年から「路」に所属、関水華(路)二代目主宰に師事、本格的に川柳を作曲、現在に至る。

句集「胡蝶花(しゃぶ)の眼 合同句集「ハマの川柳人たち(横浜の文化6)」

大阪府 久保田 半蔵門



昭和9年2月1日生
現在 全日本川柳協会顧問、川柳天守閣 会長
三金会 主宰、高槻「藝句会」主宰

柳を始める。「せんば川柳社」に所属した。昭和39年入業の要職に就き川柳を中断、平成2年復帰した。
著書に「合同句集(一〜三)エイプリル・フルがある。

大阪府 田中 螢柳



昭和11年12月23日生
昭和31年読売新聞(よみうり)川柳・岸本水府選に投句、昭和43年番傘みどり川柳会同人・番傘川柳本社同人、平成14年番傘川柳本社幹事同人、平成15年豊中市市池延寿会川柳講師、平成21年豊中川柳会会長、平成25年全日本川柳協会常任幹事、同年池田市・久安寺に川柳句碑建立、平成26年番傘川柳同人歴45年表彰を受ける。
著書に「道修町」、「修二公権」「田中螢柳句集」

長崎県 永石 珠子



昭和10年1月12日生
昭和33年より川柳入門
現在 番傘川柳本社九州総局副総局長、番傘川柳本社幹事同人、全日本川柳協会常任幹事、長崎番傘川柳会会長、川柳花の会会長、長崎新聞時事川柳および柳壇選者(財団法人)長崎県すこやか長寿財団「そよかせ」誌の川柳部門選者、長崎県文学賞選者、朝日新聞柳壇選者とNHK長崎文化センター川柳講座講師も経る。

全日本川柳誌上大会のご案内

(平成柳多留第21集)

日本の全柳人が、だれでも、どこからでも参加できる「全日本川柳誌上大会」(平成柳多留第21集)を開催します。日川協年次大会・国民文化祭文芸大会と並ぶ(一社)全日本川柳協会の権威ある三大年間行事ですので、こぞってご参加ください。

一般社団法人 全日本川柳協会

理事長 小島 蘭 幸

出版委員長 西 出 楓 楽

課題と共選者 (各題2句・連記)

「和む」 池 さとし — 大田 かつら 共選

「予定」 堀井 勉 — 岩原 茂明 共選

「叫ぶ」 舘岡 稲風 — 稲村 遊子 共選

「コイン」 安藤 波瑠 — 岡田 篤 共選

「幕」 矢野 義雄 — 大島 凧子 共選

第二次選者 竹本 瓢太郎 佐藤 岳俊 鈴木 公弘
齊藤 由紀子 田中 螢柳

参加費 2,000円 (投句料・『平成柳多留』第21集代金含む)
賞 平成柳多留賞・川柳大賞・NHK会長賞
日本青少年育成協会会長賞・全日本川柳協会賞
全日本川柳誌上大会賞 (予定)

締切 平成31年1月31日(木)〈当日消印有効〉

発表・表彰 第43回全日本川柳浜松大会 (平成2019年6月)

参加方法 参加用紙に記入し、参加費2,000円(振替又は小為替)とともに下記へご送付ください。

〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1-11-905

一般社団法人 全日本川柳協会

電話 (06) 6352-2210

FAX (06) 6352-2433

振替口座 00970-9-3575

今後の全国大会予定

▼ 浜松

2019年6月16日(日)
アクトシティ浜松

▼ 秋田

2020年6月14日(日)
秋田キャッスルホテル

今後の国民文化祭予定

▼ 大分

2018年10月21日(日)
別府市公会堂

▼ 新潟

2019年10月6日(日)
未定

▼ 宮崎

2020年秋
未定

▼ 富山

2018年11月4～5日
高岡市内

今後のねんりんピック予定

(元常務理事・元常任幹事)

平成30年6月以後(敬称略)

謹んでお悔み申し上げます。

逝去日

役職 お名前 年齢

6/5 常任幹事 田辺 進水 76

第12回 川柳文学賞募集

日川協では川柳の普及向上を目的として、毎年1年間に出版された川柳個人句集のうち、もつとも優れた川柳句集に対して「川柳文学賞」を授与しています。
平成30年1月から12月末日までに刊行した句集6冊及び同句集の概要説明書を平成31年1月末日までに当協会の「川柳文学賞」選考委員会宛にお送りください。沢山のご応募お待ちしております。

編集後記

★理事長も挨拶で述べていますが、本当に最近の災害は日本列島を恐怖に導くような天災人災が多くみられ、人間の生命の尊さなどどこ吹く風に追いやられました。

★そんな中で全国の川柳家の皆様、今夏の猛暑を何とか乗り切りホッとしている。今ではないでしょうか。

★いつも申していますように川柳界も後期高齢者が増え、各吟社もフレッシュ感が失われて行きつつありますが、これも致し方のないことです。日本全体がそのような状態で困った現象になっています。

★今回の日川協通信は熊本大会に多くの川柳家に参加していただき、大会会場で開かれた総会で皆様に伺ったご意見を今後の指針にしたいと思っています。

★まだ残暑厳しい折、夏疲れのないことをお祈りいたします。

(事務局長 本田智彦)

北海道地震により被災された方々へお見舞い申し上げます。被災地の皆様の安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。